IELTSテスト対策講座

この講座では リスニング、リーディング、スピーキング、ライティング の4つのスキルをバランスよく伸ばすことを重視しています。自学での学習が難しいライティングの添削演習コースも用意しています。

★この講座は、有限会社ビート米会話の講師が担当します。

留学総合対策コース

海外留学・大学院進学を目指す方へ！

春セメスター　夏期集中
秋セメスター　春期集中

このコースは、海外留学への応募・海外の大学・大学院の入学要件として求められるIELTSテストの受験対策を目的としたコースです。リスニング・リーディング・スピーキング・ライティングの4技能についてトータルに学びます。IELTSテストはTOEFL®テストと同じ4技能について能力をはかるテストですが、 TOEFL®テストとIELTSテストとでは、出題内容・解答形式・採点基準などが異なり、またIELTSテストのリスニングではイギリス英語が用いられるなど、IELTSテスト特有のポイントを押さえながら学習することが重要です。この講座では、語彙力や文法の知識・正確さといった基礎力を固め、各セクションの出題内容や特徴・解答にあたっての時間配分などをおさえた演習による実践的なトレーニングを行います。またスピーキング・ライティングの各セクションでは、ネイティブ講師から発音・イントネーション・英語による表現力・構成力を学びます。

※このコースではライティング対策の個別添削は行いません。添削指導を希望する方は「Writing添削コース」を合わせて受講することをお勧めします。

Writing添削コース

ライティング試験への徹底した対策を考えている方へ！

春セメスター　夏期集中
秋セメスター　春期集中

このコースは、IELTSテストのライティングセクションで出題される分野のテーマに対してエッセイを作成し、ネイティブ講師による添削指導を受けるコースです。ライティングセクションでは、データの分析や比較などを検討し、自分の考えを論理的に筋道を立てて表現できるかが評価のポイントになります。また語彙と文法の正確さについては厳しく評価されますので、演習を繰り返すことで解答の精度を高めることが重要です。「留学総合対策コース」と合わせて受講すると効果的です。

※このコースは4回の通信添削で行われます。

■ 受講について

IELTSテスト対策講座は、海外留学を目指している方、大学院進学などでテストのスコアの提出を必要とされている方を主な対象としていますが、併せて総合的な英語力の習得を目指している方にも受講をお勧めします。IELTSテストでは、4技能の各セクションでの評価基準が明確になっており、自分なりの目標を定め、それに向けた学習計画を立てやすいという特徴があります。受講生の語学力には違いがあり、目指すスコアレベルも異なります。英語力に自信がなく授業についていけるか不安に思う方もいるかと思いますが、受講生一人ひとりの語学スキルに応じた指導と、適切な学習法をお伝えしてサポートしていきますので、安心して受講してください！

★IELTSテスト対策講座では、受講生を対象としたプレイスメントテスト・アチーブメントテストの実施はありません。

ATTENTION

この講座では、受講終了後に公式テスト（IELTSテスト）に積極的にチャレンジすることを推奨しており、受講後に受験する公式テスト（IELTSテスト）受験をアチーブメントテストとして位置づけ、検定料の一部を補助します。

詳細は、本要項の10ページの「CLAの検定料補助制度」をご覧ください。

TOEFL®とIELTS　どちらを受験する？

どちらも海外留学や大学院進学に使える4技能試験という形式は同じですが、試験内容や出題方法などは全く異なります。問題集などで試験内容を確認して、自分にあったテストを選択しましょう。

	Readingセクション	Listeningセクション	Speakingセクション	Writingセクション
TOEFL®テスト	700語程度の長文読解 社会科学・自然科学・人文科学・芸術・教育といったアカデミックな幅広い分野からの長文読解問題。問題は選択形式での出題。	アメリカ英語がメイン 幅広い教養分野を題材にした講義や、教授と学生の会話などを題材とした問題	コンピュータに向かって話す 比較的身近なトピックについて意見を述べたり、パッセージを読み、それに関連した音声を聞いて要点をまとめる。	コンピュータでのタイピング 複合問題。教授の質問に対する学生の意見を聞き、それを踏まえて自分の意見を書く。読み聞きした内容の要約。
IELTSテスト	900語程度の長文読解 書籍・専門誌・雑誌・新聞など一般向けに書かれたトピックについて出題。 選択問題、正誤問題・穴埋め問題・記述式問題など様々なタイプの問題での出題。	イギリス英語がメイン 日常生活での会話やモノローグ、教育現場での複数人の会話や学術的なテーマに関するモノローグを題材とした問題。	面接官と１対１の対面 面接官の質問に答えながら、自己紹介、日常の話題などについてスピーチや簡単なディスカッション。	筆記式/コンピュータでのタイピング グラフや表など視覚的な情報について自分の意見を書く。社会的なトピックについて根拠や例をあげて筋道をたてて自分の意見を書く。

※IELTSテストは、ペーパーベースでの受験とコンピュータベースでの受験では、受験方法など異なる点があります。詳細は、各試験実施団体のホームページ等でご確認ください。

■ 講座スケジュール・受講料

◆各講座ともコース定員は 20名 です。
各コースの最少催行人数は 15名 です。
受講申込者数がこれを下回った場合は「閉講」となることがあります。
＊Writing添削コースは最少催行人数の設定はありません。

◆ CLA講座の授業時間　CLA講座は 1回 80分で授業を行います。

春セメスター 秋セメスター	1日 2回 ①18:30～19:50 ②20:00～21:20
夏 期 集 中 春 期 集 中	1日 4回 ①9:30～10:50 ②11:00～12:20 ③13:20～14:40 ④14:50～16:10

IELTSテスト対策講座

※本講座はZoomによるライブ形式で授業を行います。
※Writing添削コース(通信制)については下表をご覧ください。

開講期間	開講コース	申込期間	開講発表	講 座 ス ケ ジ ュ ー ル							
春セメスター	留学総合対策コース	4/7(月)～4/28(月)	5/1(木)	5/13 (火)	5/16 (金)	5/20 (火)	5/23 (金)	5/27 (火)	5/30 (金)	6/3 (火)	6/6 (金)
				①②	③④	⑤⑥	⑦⑧	⑨⑩	⑪⑫	⑬⑭	⑮⑯
				6/10 (火)	6/13 (金)	6/17 (火)	6/20 (金)	6/24 (火)	6/27 (金)	7/1 (火)	7/4 (金)
				⑰⑱	⑲⑳	㉑㉒	㉓㉔	㉕㉖	㉗㉘	㉙㉚	予備日
夏期集中	留学総合対策コース	7/14(月)～8/22(金)	8/25(月)	9/4 (木)	9/5 (金)	9/6 (土)	9/8 (月)	9/9 (火)	9/10 (水)	9/11 (木)	9/12 (金)
				①②③④	⑤⑥⑦⑧	⑨⑩⑪⑫	⑬⑭⑮⑯	⑰⑱⑲⑳	㉑㉒㉓㉔	㉕㉖㉗㉘	㉙㉚ 予備日
秋セメスター	留学総合対策コース	9/16(火)～10/6(月)	10/9(木)	10/21 (火)	10/24 (金)	10/28 (火)	10/31 (金)	11/4 (火)	11/7 (金)	11/11 (火)	11/14 (金)
				①②	③④	⑤⑥	⑦⑧	⑨⑩	⑪⑫	⑬⑭	⑮⑯
				11/18 (火)	11/21 (金)	11/25 (火)	11/28 (金)	12/2 (火)	12/5 (金)	12/9 (火)	12/12 (金)
				⑰⑱	⑲⑳	㉑㉒	㉓㉔	㉕㉖	㉗㉘	㉙㉚	予備日
春期集中	留学総合対策コース	12/1(月)～1/16(金)	1/19(月)	1/28 (水)	1/29 (木)	1/30 (金)	2/2 (月)	2/3 (火)	2/4 (水)	2/5 (木)	2/6 (金)
				①②③④	⑤⑥⑦⑧	⑨⑩⑪⑫	⑬⑭⑮⑯	⑰⑱⑲⑳	㉑㉒㉓㉔	㉕㉖㉗㉘	㉙㉚ 予備日

■ IELTSテスト対策講座　Writing添削コース　※本コースは通信添削です。

開講期間	申込期間	開講発表	回数	第1回	第2回	第3回	第4回	募集人数
春セメスター	4/7(月)～4/28(月)	5/1(木)	課題提示日	5/14(水) 10:30	5/28(水) 10:30	6/11(水) 10:30	6/25(水) 10:30	30
			回答提出期間	5/19(月)～21(水) 正午	6/2(月)～4(水) 正午	6/16(月)～18(水) 正午	6/30(月)～7/2(水) 正午	
			添削結果返却日	5/28(水)	6/11(水)	6/25(水)	7/9(水)	
夏期集中	7/14(月)～8/1(金)	8/4(月)	課題提示日	8/6(水) 10:30	8/20(水) 10:30	8/27(水) 10:30	9/3(水) 10:30	30
			回答提出期間	8/16(土)～18(月)	8/23(土)～25(月)	8/30(土)～9/1(月)	9/6(土)～8(月)	
			添削結果返却日	8/23(土)	8/30(土)	9/6(土)	9/13(土)	
秋セメスター	9/16(火)～10/6(月)	10/9(木)	課題提示日	10/15(水) 10:30	10/29(水) 10:30	11/12(水) 10:30	11/26(水) 10:30	30
			回答提出期間	10/20(月)～22(水)	11/3(月)～5(水)	11/17(月)～19(水)	12/1(月)～3(水)	
			添削結果返却日	10/29(水)	11/12(水)	11/26(水)	12/10(水)	
春期集中	12/1(月)～1/16(金)	1/19(月)	課題提示日	1/26(月) 10:30	2/2(月) 10:30	2/9(月) 10:30	2/16(月) 10:30	30
			回答提出期間	1/29(木)～31(土)	2/5(木)～7(土)	2/12(木)～14(土)	2/19(木)～21(土)	
			添削結果返却日	2/5(木)	2/12(木)	2/19(木)	2/26(木)	

受 講 料

※受講料にテキスト代金は含みません。

講座名	コース名	授業回数	受講料(税込)	備考
IELTS テスト対策講座	留学総合対策コース	30	47,000円	
	Writing添削コース	4	5,600円	＊4回の通信添削です。

【CLA講座キャンセルポリシー】

CLA講座の受講料について、受講申込後にキャンセルする場合の受講料の取り扱いについては、下記の通りとします。

① 受講する講座の開講発表日の前日までに受講キャンセルの申し出があった場合は、受講料を全額返還します。
② 受講する講座の開講発表日の当日以降に受講キャンセルの申し出があった場合は、受講料は返還しません。
③ 言語習得センター側の都合により講座が開講中止となった場合は受講料を全額返還します。
④ 言語習得センター側の責に帰す事由（募集要項の記載ミス、説明・手続きミス等）により受講を継続できなかった場合、または言語習得センターから受講をお断りする場合は、未受講分の受講料を返還します。未受講分の受講料の算出方法は、受講料を総授業回数で按分した1コマ単価に未受講分のコマ数を乗じた金額とします（1円未満は切り捨て）。

受講キャンセルの申し出は、言語習得センター窓口への来室・電話・メールのいずれかの方法でご連絡ください。なお、窓口への来室・電話でのお申し出は、下記の言語習得センターの窓口時間内での受付となります（連絡先電話番号・メールアドレスは本要項の裏表紙をご覧ください）。

【言語習得センター窓口時間】＊衣笠・BKC・OIC　3キャンパス共通　月～金（土日祝日・大学の休業日を除く）
〔セメスター開講期間〕10:00～17:00　（＊11:30～12:30は昼休憩につき窓口は閉室します）　〔休暇期間中〕　13:00～17:00

■ 受講申込方法　★必ずよく読んで手続きを行ってください。

※CLA講座は、立命館大学の在学生のみ受講が可能です。

■ 申込から受講までのながれ

受講講座決定 → Step1 Web申込 → Step2 受講料支払い → Step3 受講案内確認 → Step4 開講発表 → 受講スタート

Step1 Web申込

● 立命館大学言語習得センターのホームページにアクセスしてください
https://www.ritsumei.ac.jp/gengo/cla/ *右のQRからもアクセス可

● Web画面の「**受講申込はこちら**」をクリック、申込手順を確認して画面下「**受講申込画面へ**」からWeb入力フォームに進み、必要事項を入力してください。
＊Web申込の際は必ず学内RAINBOWメールアドレスを登録してください。

● 入力後「**確認画面**」に進み、内容を確認して「**送信**」ボタンをクリックして受講料の支払画面に進んでください。

Step2 受講料支払い

受講料の支払いは、クレジット決済・コンビニ決済のどちらかを選択してください。

●クレジット決済

画面の指示にしたがって必要事項を入力してください。入力手続きが終了した時点で受講料の支払いが完了します。「受講申込確認メール」が届きますので確認してください。

●コンビニ決済

画面の指示にしたがって必要事項を入力してください。
入力完了後に「受講申込確認メール」とコンビニ支払いの案内メールの2つのメールが届きます。
選択したコンビニエンスストアでWeb申込日を含めて3日以内に支払いを行ってください。

★ 例えば、金曜日にWeb申込をした場合

＊3日を過ぎると自動的にキャンセルとなります。受講を希望する場合は再度Web申込を行ってください。

Step3 受講案内確認

受講料支払い完了後、CLA事務局で申込内容・入金を確認します。
確認後に「受講案内（シラバス）」を Web申込時の登録メールアドレス宛に送信しますので、必ず内容を確認のうえ受講に備えてください。
★TOEIC®L&Rテスト対策講座、TOEFL®テスト対策講座の受講者は、受講前にプレイスメントテストを受験します。受講案内と一緒に受験マニュアルをお送りしますので、必ず受験までに確認のうえ、準備をしてください。

Step4 開講発表

CLA講座は最少催行人数を下回った場合に「閉講」となることがあります。受講人数が最少催行人数を上回り「開講」が決定した場合は、CLAのホームページ内・各講座のページにある「講座スケジュール」に「開講決定」と表示します。必ずこのページで「開講決定」を確認して、テキストを購入してください。
★TOEIC®L&Rテスト対策講座は、開講発表後のプレイスメントテストによりコースが決定しますので、コース発表を確認のうえ所定のテキストを購入してください。

（表示例）

受講申込にあたっての注意事項

● 受講申込は「先着順」で受け付けます。同一講座の同一コースを重複して申し込むことはできません。

● Web申込が終了すると、申込時の登録メールアドレス宛に「受講申込確認メール」が配信されます。このメール受信を必ず確認し、受講開始まで必ず保管しておいてください。
※TOEIC®L&Rテスト対策講座を受講される方は、共通テキストの受け取り方法についてのアンケートフォームへの回答が必要となります。「受講申込確認メール」にアンケートフォームのURLが掲載されていますので、必ず回答してください。

● 受講定員を上回った時は「キャンセル待ち」となり、キャンセルが発生した場合に、順次繰り上げて「空席案内メール」を配信します。こまめにメールをチェックし、メール受信後は速やかに受講料の支払いを行ってください。

● 申し込んだ講座受講をキャンセルする場合は、「受講申込確認メール」の本文下にキャンセルフォームのURLが表示されていますので、そのURLにアクセスしてキャンセルしてください。

■ CLAの検定料補助制度

立命館大学言語習得センター(ＣＬＡ)では、受講生の皆さんが講座学習の成果を自身で検証できるよう、検定試験の受験を奨励し、検定料の一部補助を行っています。2025年度の検定料補助については以下の通りとなります。
本制度を活用し検定試験にチャレンジして下さい。

補助対象となる講座および検定試験

- TOEFL®テスト対策講座・留学徹底対策コースの受講生は、TOEFL iBT®テスト(公式テスト)を補助対象とします。
- IELTSテスト対策講座・留学総合対策コースの受講生は、IELTSテスト(公式テスト)を補助対象とします。

応募資格

次の2つの条件を充たしていることが申請要件となります。
① 上記対象講座の2025年度受講生(学部・大学院の正規学生)であること。
② 受講講座の総授業回数に対して80%以上の出席率であること。
＊出席率は、対象講座の総授業回数に0.8を乗じて算出します(小数点以下は切り捨て)。
〔その他条件〕
・検定料補助の申請は、1回の講座受講につき1回限りとします。
・補助対象となる検定試験は、講座終了日以降、翌々月末までに受験した検定試験です。
ただし、春期集中講座の補助対象となる検定試験は、2026年3月15日(日)の受験分までとします。
・2025年度の検定料補助の申請受付は、2026年3月19日(木)の17:00までとします。

申請方法

受験日から30日以内(受験日を含める)に申請フォームから申請してください。申請にあたっては次の2つの書類のアップロードが必要です(ファイル形式はPDF・PNG・JPEGのいずれかの形式)。事前に準備してください。
①検定料納付書(領収書)、その他支払いを証明するもの
＊クレジットカードの明細書は不可
②検定試験のスコアレポート(成績証明書)
＊②の書類が申請期日までに間に合わない場合は、①の書類のみで申請を行い、②については、入手後メール添付にて下記まで送付してください。

・メール送信先：gengocla@st.ritsumei.ac.jp
言語習得センター検定料補助担当宛

WEB申請はコチラから

補助金の支払いについて

補助金額は、10,000円とします。
申請フォームに入力された銀行口座(申請者本人名義の口座に限ります)へ振り込みます。

FAQ

CLA講座に関するよくある質問

Q. TOEIC®テストとTOEFL®テストの違いは何ですか？
A. どちらも英語能力を測定するテストですが、TOEIC®テストは主にビジネス上で求められる英語能力で、会議やメールなどビジネスシーンで使われる英語が多く出題されます。一方、TOEFL®テストは主に海外留学に必要な英語力をはかるテストで、社会科学や人文科学などのアカデミックな問題が多く出題されます。

Q. IELTSとTOEFL®テストのどちらを受験するか迷っています。
A. 将来留学を目指しているのであれば、留学先で必要とされるテストを選択してください。どちらも有効な場合は、出題内容や受験方式など各テストによって特徴が異なりますので、問題集やホームページで公開されているサンプルテストを解いてみて、自分が取り組みやすいと思えるテストを選ぶとよいでしょう。

Q. プレイスメントテストは必ず受験しなくてはいけないのですか？
A. TOEIC®L&Rテスト対策講座では受講するコース選択時にスコアが必要となりますので必ず受験してください。また、プレイスメントテスト・アチーブメントテストの各テストは、講座での学習成果を確認するテストです。無料で受験できる機会ですので、ぜひ受験してください。

Q. 自分の英語力に自信がなく、レベル分けの無いクラスで授業についていけるのか不安です。
A. ある程度の努力は必要ですが、講師の先生方は受講生一人一人の英語力を把握して適切なサポートをしてくれます。またグループワークでは学部や語学レベル・考え方の違う学生と接することがよい刺激となり、お互いを高めることにつながったという受講生がたくさんいます。

Q. 講座が始まる前に何かしておくことはありますか？
A. 申込完了時にシラバスをお送りしますので、テキストや参考図書に目を通しておくこと、時間があれば英語の速読の練習など、英文に慣れておくことをお勧めします。Youtubeなどで英語の動画を見るのもよいでしょう。

Q. 講座では課題・宿題がどれくらいありますか？
A. 受講する講座・コースによって異なりますが、多くの受講生が予習・復習を含めて、1～2時間程度、勉強に時間を費やしています。

Q. 研究発表や就職活動で出席できない回がありますが、何かフォローはありますか？
A. 授業内容や課題はお知らせしますので、次の授業までに自習をしていただくことになります。質問などは講師の先生も応えてくれます。なお授業を欠席される場合は、必ずコースツールで欠席連絡を行っていただきます。

テストについて知る
IELTS テスト

IELTSテストは、世界140カ国、年間350万人以上が受験する世界基準の英語運用能力評価試験です。英語圏の大学への留学、特にイギリス・カナダ・オセアニア圏では受験が必須となっています。IELTSテストには大きく分けて、アカデミック・モジュールと、ジェネラル・モジュールの2つの種類があります。試験の構成はほぼ同じですが、目的・提出先が定める要件に応じていずれかを選択して受験することになります。
＊留学の際は一般的にアカデミック・モジュールを受験します（申請時に提出先にスコア要件を確認してください）。

- アカデミック・モジュール（大学や大学院への留学や就職を希望している受験者向けのテスト）
- ジェネラル・トレーニング・モジュール（イギリス・オーストラリア・ニュージーランド・カナダへの移住を希望している人向けのテスト）

※ IELTSテストとは別に英国ビザ申請用に IELTS for UKVIと、IELTS Life Skills(A1・B1) も実施されています。

■ IELTSテストの試験概要・構成（アカデミック・モジュールの場合）

Section	テスト内容・求められる力		試験時間
Listening	話の要点・特定の情報を聞き取る力、話者の意図や姿勢、目的を理解する力など、幅広いリスニング力が問われる。〔全40問〕	Part1：日常会話での二人の会話 Part2：日常会話でのモノローグ Part3：教育現場での複数人での会話 Part4：学術的なテーマに関するモノローグ	30分
Academic Writing	課題に対してデータの分析・比較を行い、正しく論理的に説明する力、質問に対する意見が適切か、一貫性があるか、また語彙や文法が正確に使われているかが問われる。	Task1：グラフや表、図形を分析し、自分の言葉で説明したり、物事の過程や手順について説明する。 Task2：ある問題について、根拠や例を挙げて比較しながら、筋道を立てて自分の意見をエッセイとして書く。	60分
Academic Reading	文章の要点や詳細を把握する力、言外の意味を読み取る力、筆者の意図や姿勢、目的を理解する力、議論の展開についていく力など、幅広いリーディング力が問われる。〔全40問〕	3つの長文。書籍・専門誌・雑誌・新聞から学術的トピックについて出題。様々なタイプの問題（選択問題、正誤問題、組み合わせ問題、図表の穴埋め問題、記述式問題）が出題される。	60分
Speaking	面接官と1対1の対面で実施。質問に答えながら、日常の話題などへの意見を述べる力、話の一貫性・説得力、物事を分析・議論・推測する力などが問われる。	Part1：自己紹介と日常生活に関する質問 Part2：スピーチ Part3：ディスカッション	11～14分
合　計			約3時間

※ テストの受験方法として、ペーパー形式とコンピュータ形式の受験形式があります。いずれの形式も試験内容・採点方法は同じですが、形式により異なる特徴がありますので、自分にあった形式を選択してください（運営団体のホームページで詳細を確認してください）。
※ コンピュータ形式の場合、Listening・Writing・Readingをコンピュータで受験した後、Speakingはペーパー形式と同様に面接官と1対1の対面方式で実施されます。なお、Speakingテストまでの間、休憩時間はありません。
※ 受験者数によってSpeakingテストの開始まで時間がかかることがあります。Speakingテストの試験時間の予約制度もありますので、各運営団体の受験申込ページを確認してください。

■ IELTSテストのスコアについて

バンドスコア		英語能力の説明
9.0	エキスパートユーザー	英語を自由自在に使いこなす能力を有する。適切、正確、流暢、完全な理解力もある。
8.0	非常に優秀なユーザー	不正確さや不適切さが見られるが、英語を自由自在に使いこなす能力を有する。慣れない状況下では誤解が生じる場合があるが、込み入った議論にも対応できる。
7.0	優秀なユーザー	不正確さや不適切さが見られ、また状況により誤解が生じる場合があるが、英語を使いこなす能力を有する。複雑な言葉使いにも対応でき、詳細な論理を理解できる。
6.0	有能なユーザー	不正確さ、不適切さ、誤解も見られるが、おおむね効果的に英語を使いこなす能力を有する。慣れた環境下ではかなり複雑な言葉使いの使用と理解ができる。
5.0	中程度のユーザー	不完全だが英語を使う能力を有し、ほとんどの状況で大まかな意味を把握できる。間違いをおかすこともある。自分の専門分野では基本的なコミュニケーションが可能。
4.0	限定的ユーザー	慣れた状況においてのみ、基本的能力を発揮できる。理解力、表現力の問題が頻繁に見られる。複雑な言葉使いはできない。
3.0	非常に限定的なユーザー	非常に慣れた状況において、一般的な意味のみを伝え、理解することができる。 コミュニケーションの断絶が頻発する。
2.0	一時的なユーザー	慣れた状況下で、その場の必要性に応じて極めて基本的な情報を片言で伝える以外、現実的なコミュニケーションをとることは不可能。英語の会話や文章の理解は困難。
1.0	非ユーザー	単語の羅列のみで、基本的に英語を使用する能力を有していない。

テスト結果は、各セクションごとの 1.0～9.0 までのバンドスコアと、総合評価としてオーバーオールバンドスコアで表示されます。バンドスコアで示される英語スキルは左の表を参照してください。

※実施団体により、コンピュータ形式での特定の受験において1技能のみを再受験できる“One Skill Retake“制度があります。（詳細は実施団体のホームページで確認してください）。

テストの詳細・申込方法などは試験運営団体のホームページをご覧ください.

一般財団法人 JSAF
https://jsaf-ieltsjapan.com/

公益財団法人 日本英語検定協会
https://www.eiken.or.jp/ielts/

IDP Education Japan 合同会社
https://ieltsjp.com/japan

ブリティッシュ・カウンシル
https://www.britishcouncil.jp/exam/ielts